

令和6年度 高松市外郭団体 経営評価シート

1 団体情報

No.	9	種別	公益財団法人	団体名	高松市学校給食会		
所在地	香川県高松市朝日新町26番25号(高松市朝日新町学校給食センター)						
電話番号	087-823-7571	FAX番号	087-823-7573		所管 部局	教育局 保健体育課	
団体ホームページ	http://www.takamatsu-gk.jp/						
代表者職氏名	理事長 山田 士郎		設立年月日	昭和38年12月			
基本財産	10,000 千円	市出資等額(割合)	10,000 千円	(100.0%)			
設立目的	高松市において学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、学校教育における食育の推進を支援することにより、子どもの心身の健全な発達並びに市民の豊かな食生活の実現に寄与する。						
事業概要	設立目的を達成するため、安心・安全な給食物資を低廉な価格で安定的に確保するとともに、地場産物や旬の食材、郷土料理等を献立に取り入れ、学校給食を通じて自然や地域の食文化などについて学べるよう策定した献立の材料調達に努めている。						
評価対象決算期	令和6年4月1日		～	令和7年3月31日			

2 組織の状況(4月1日現在)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
役員数(非常勤含む)	8 人	8 人	8 人
うち市派遣(兼務含む)	2 人	2 人	2 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	19 千円	18 千円	16 千円
職員数(非常勤含む)	5 人	5 人	5 人
うち市派遣(兼務含む)	1 人	1 人	1 人
うち市退職者	1 人	1 人	1 人
職員平均年間報酬	4,598 千円	4,131 千円	3,763 千円

3 主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
公益目的事業	学校給食物資の安定的な調達・配給、学校給食を通じた食育推進、学校給食の普及充実・調査研究	人件費、事務費
給食費に関すること	・附属高松小及び保育所分の給食費徴収 ・市立小中学校分の令和4年までの未収金回収	人件費、事務費

4 市の財政的関与の状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
補助金	31,901 千円	30,270 千円	27,962 千円
委託料	6,035 千円	5,824 千円	0 千円
うち指定管理料	0 千円	0 千円	0 千円
その他	2,031,771 千円	1,974,089 千円	535,531 千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
経常収益	2,116,151 千円	2,055,090 千円	1,969,262 千円
経常費用	2,115,146 千円	2,054,325 千円	1,966,290 千円
当期経常増減額	1,005 千円	765 千円	2,972 千円
経常外収益	0 千円	0 千円	0 千円
経常外費用	0 千円	0 千円	2,181 千円
当期経常外増減額	0 千円	0 千円	△ 2,181 千円
当期一般正味財産増減額	1,005 千円	765 千円	793 千円
当期特定正味財産増減額	0 千円	0 千円	0 千円
当期正味財産増減額合計	1,005 千円	765 千円	793 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

②貸借対照表

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動資産	140,426 千円	138,371 千円	155,403 千円
固定資産	24,296 千円	21,967 千円	21,967 千円
資産計	164,722 千円	160,338 千円	177,370 千円
流動負債	139,289 千円	137,177 千円	156,037 千円
固定負債	14,195 千円	12,930 千円	11,867 千円
負債計	153,484 千円	150,107 千円	167,904 千円
指定正味財産	0 千円	0 千円	0 千円
一般正味財産	11,237 千円	10,231 千円	9,467 千円
正味財産計	11,237 千円	10,231 千円	9,467 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

<主な経営指標>

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動比率 (流動資産÷流動負債)	100.8 %	100.9 %	99.6 %
自己資本比率 (正味財産計÷負債・正味財産)	6.8 %	6.4 %	5.3 %

6 経営評価の総括

項 目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	公益目的事業(学校給食物資の安定的な調達・配給事業、学校給食を通じた食育推進事業、学校給食の普及充実・調査研究事業)に取り組んだ。 高松市から学校給食用物資調達業務を受託し、適切に対応した。	学校給食費徴収・管理業務を公会計方式に移行した後も、団体の使命・役割に大きな変化はなく、市の受託者として、引続き、学校給食物資の安定的な調達等を円滑に行っている。
②業務・組織管理	業務遂行のため、献立委員会、物資購入委員会等を運営し、円滑に推進した。	特に問題は見受けられない。
③財務状況	流動資産(主に未収金(食材費))と流動負債(主に未払金(食材費))はほぼ同額のため、流動比率は約100%となる。また、自己資本比率は、未払金が食数及び物価の変動により多少変動するのみで、大きく上昇することはない。令和5年度から学校給食費が公会計化されたため、本会の業務について、これらの経営指標で判断することが困難となっている。	学校給食費徴収・管理業務の公会計化以前と比較して、自己資本比率は良化しており、経営は健全化している。
④今後の方向性及び課題	本会の主な業務は学校給食の食材調達である。その財源となる学校給食費が公会計化された今、市からの委託により材料費が実費支払われている状況において、法人への委託効果に疑問がある。 公会計化とともに、直営化した自治体も相当数あることから、学校給食会の在り方を再検討する必要がある。	外部の組織による柔軟かつ機動的な対応には大きなメリットがあることから、現在のところ、業務委託の継続が適切と考えるが、今後も、本市の学校給食を取り巻く状況の変化を踏まえながら、適宜、在り方を検討したい。

【再掲】各指標の推移

